

新島学園短期大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学科	キャリアデザイン学科	職位・氏名	教授 高山有紀
------	------------	-------	---------

1. 教育の責任（何をおこなっているのか／担当授業科目その他）

【春学期】

「日本史概論」1年次 選択 2単位

「日本文化財論」1年次 選択 2単位

「卒業研究Ⅰ」2年次 必修 2単位

【秋学期】

「日本教育論」1年次 選択 2単位

「日本の伝統文化」1年次 選択 2単位

「卒業研究Ⅱ」2年次 必修 2単位

【その他 他大学などでの科目担当】

「教育学特論」群馬パース大学大学院 1年次 選択 2単位

2. 教育の理念・教育目標（どのような考えに基づいて行っているか）

キャリアデザイン学科が掲げるディプロマ・ポリシーのうち、特に思考力・判断力・表現力を身につけられるような授業を行えるよう心がけている。文化・歴史に関わる科目では、高校までに学んだ基本的な知識が身についているかどうかを確認し、それを別の角度から見た場合にどのように捉えられるのかを問い、他の学生の考え方を知った上で、再度自分のことばで説明できるところまで理解できたか否かを評価している。教育に関わる科目については、自身の被教育体験を客観的に振り返りつつ、社会問題化している昨今の教育事情について情報収集をし、他者の意見も取り入れつつ自身のことばで意見を述べられるようになって欲しいと考えている。

3. 教育の方法（その考えをどうやって実現しているか／実践の工夫）

文化・歴史関係の科目においては、ワークシートやリアクションペーパーを活用し、授業の要点が理解できているかを確認しながら、自身の考えをまとめるという過程を重視している。教育関係の科目においては、ディベート要素を取り入れ、「賛成」と「反対」の立場から意見を書いてもらい、それぞれの立場から複数の学生の意見を聴くことで、多様な視点から物事をとらえるトレーニングの一環としている。また期末のレポートを仕上げる際には、GoogleClassroom に 15 回の授業を通してのまとめや補足事項を上げ、授業内容を振り返りながら意見をまとめられるよう支援を行っている。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうなったか/結果と評価）

2025 年度新島学園短期大学春学期授業アンケート

（評価）全般的に基準は満たしている。

（課題）話すスピードを少しゆっくりして欲しいとの要望があり、改善する予定である。

2025 年度新島学案短期大学秋学期アンケート

（評価）全般的に基準は満たしている。

（課題）アクティブラーニングをもっと取り入れて欲しいとの要望があり、改善する予定である。

5. 今後の目標（今後どうするか）

特に文化・歴史系の科目でアクティブラーニングを増やすためには、学習内容の精査が必要となる。
GoogleClassroom 等を活用した事前事後学習を充実させることで講義内容自体を軽減し、意見交換を行う時間をゆったり確保できるよう工夫したい。

6. 根拠資料

- ・2025 年度学生便覧 カリキュラム表
- ・2025 年度新島学園短期大学春学期授業アンケート結果
- ・2025 年度新島学園短期大学秋学期授業アンケート結果